

資料編

1 計画見直し経過

月 日	内容
令和3年度	
6月24日	第1回安城市スポーツ推進審議会
10月27日	第2回安城市スポーツ推進審議会
11月19日～ 12月10日	スポーツに関する市民意識調査(成人・中高生)
3月16日	第3回安城市スポーツ推進審議会
令和4年度	
5月24日	第1回安城市スポーツ推進審議会
6月15日～ 7月15日	パブリックコメント実施
8月23日	第2回安城市スポーツ推進審議会

2 スポーツ推進審議会委員名簿(令和3～4年度)

役職	氏 名	所属等
会長	野村 富雄(R3～4)	公益財団法人安城市スポーツ協会(代表理事)
副会長	四ツ井 初美(R3～4)	安城市スポーツ推進委員連絡協議会(副会長)
委員	築山 富子(R3)	安城市老人クラブ連合会(副会長)
	杉山 恵子(R4)	安城市老人クラブ連合会(副会長)
	長谷部 剛(R3～4)	愛知県中小学校体育連盟安城支所(支所長)
	香村 直廣(R4)	愛知県中小学校体育連盟安城支所(支所長職務代理者)
	松宮 博(R3)	市内高等学校代表(愛知県立安城農林高等学校保健体育科主任)
	鈴木 俊貴(R4)	市内高等学校代表(愛知県立安城農林高等学校保健体育科主任)
	前田 光成(R3～4)	株式会社ニッセイ(総務課長)
	石川 恭(R3～4)	愛知教育大学教育学部保健体育講座教授
	藤野 奈緒子(R3～4)	市民代表
	小森 義史(R3～4)	市民代表
	園田 直哉(R3～4)	市民代表

3 用語解説

あ 行

◆アジア競技大会

アジア・オリンピック評議会（OCA）が主催（第9回大会まではアジア競技連盟主催）する、アジア地域を対象にした国際総合競技大会で、原則4年ごとに開催されるアジア最大のスポーツの祭典。1951年にインド・ニューデリーで第1回夏季大会が行われ、冬季大会は1986年に札幌で初開催された。2026年には、第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）が開催されることが決定している。

◆AED

Automated External Defibrillator の頭文字をとったもので、日本語訳は自動体外式除細動器という。高性能の心電図自動解析装置を内蔵した医療機器で、心臓に対する電気ショックを与えるもので、日本では、医師・看護師・救急救命士のみで使用が認められていたが、平成16年7月1日から、一般市民にも使用が認められることとなっている。

◆SDGs（持続可能な開発目標）

「Sustainable Development Goals」の略で、平成27年（2015年）9月の国連総会において全会一致で採択された令和12年（2030年）までの長期的な開発の指針「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核をなすもので、「誰一人取り残さない」というコンセプトを分野別の目標としてまとめた「持続可能な開発目標」であり、国際社会共通の目標である。

SDGsは、発展途上国のみならず、先進国を含む国際社会全体の開発目標として、持続可能な世界を実現するための包括的な17の目標及び細分化された169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、環境・経済・社会の諸課題を包括的に扱い、広範囲な課題に対する統合的な取組が示されている。

◆NPO法人

営利を目的とせず、自主的・自発的に社会的な活動を行う民間の組織、団体であり、特定非営利活動促進法（NPO法）に基づく認証を受け、法人格を取得したものである。

か 行

◆国際・全国大会推進活動

東京2020オリンピック・パラリンピックをはじめ、第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）が開催されるのを契機に、本市において国内・国際レベルの大会の誘致やキャンプ地として海外のチームを招致することなどにより、市民のスポーツに対する興味や関心を高めていくための活動。

さ 行

◆スクリーンタイム

平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機などによる映像の視聴時間。

◆スポーツ少年団

公益財団法人日本スポーツ協会が、スポーツを通じた青少年の健全育成を目的として事業を行っている団体で、日本スポーツ少年団、都道府県スポーツ少年団、市町村スポーツ少年団及び単位スポーツ少年団の4つの段階で構成され運営されている。

◆スポーツ推進委員

スポーツ基本法第32条に基づき、市町村のスポーツの推進に係る体制を整備するために市町村から委嘱を受け、スポーツ推進の事業の実施に係る連絡調整、並びに住民に対するスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導及び助言を行っている。

◆スポーツチャレンジデー

世界中で実施されている住民参加型のスポーツイベントであり、一般的には、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、毎年5月の最終水曜日に15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の参加率（％）を競い合って優劣を決めている。

◆スポーツボランティア

スポーツ文化の発展のため、金銭的報酬を期待することなく自ら進んでスポーツ活動の支援をする人のことを指している。

◆総合型地域スポーツクラブ

文部科学省が地域のコミュニティの役割を担うスポーツクラブづくりに向けた先導的なモデル事業として、地域住民の自主的な運営を目指すために行ってきたクラブのこと。人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブで、①子どもから高齢者まで（多世代）、②様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、③初心者からトップレベルまでそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営される公益性・地域性を備えたスポーツクラブのことである。

な 行

◆日本リーグ

日本国内のスポーツ競技において、参加チームが総当たりで優勝を争うリーグ戦が、トーナメント戦に比べて年間を通して多くの試合をこなすため、選手の強化につながることを理由に始められたもので、1965年のサッカーを皮切りに、現在、ソフトボール、バスケットボール、バレーボール、卓球、ハンドボールなどのリーグがある。

◆ニュースポーツ

科学的な知見に基づいて、より安全に、より健康的に既存のスポーツを変形したり、類似したルールを採用したりして、近年高齢者や子どもも可能なレクリエーションとして紹介されるようになった新しいスポーツのことで、主なものとして、羽根つきボールでバレーボールをするインディアカ、ゴルフより簡便なグラウンドゴルフ、フランスのクロッケーが日本で改良されたゲートボールなどがある。

ら 行

◆ライフステージ

人生の主な節目による段階を意味し、人間の一生を時間的に段階区分したものである。